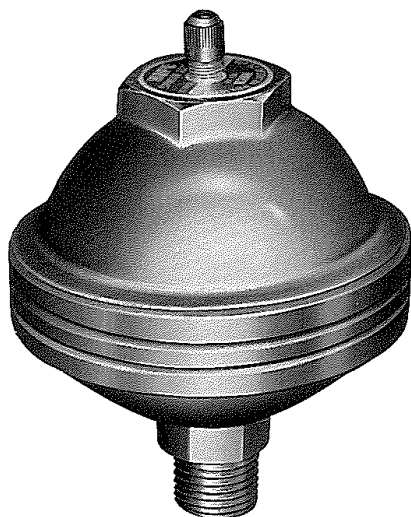


ホープ EA-2 型
エキスパンションアブソーバー
取扱説明書



(株) 横井機械工作所

〒463-0002 名古屋市守山区中志段味大洞口 2720-1

TEL. 052-736-0773 FAX. 052-736-0258

この度はEA-2型エキスパンションアブソーバーをお買いあげいただき誠にありがとうございます。十分な性能を満足していただくため、また安全及び保守・点検等のためこの取扱説明書をよくお読みください。この取扱説明書は、施工業者様はもとよりエンドユーザー様まで確実にお届けください。

購入時の点検確認

ご注文の製品に間違いがないか下記仕様をご確認ください。
併せて、輸送中の破損等が無い点検してください。

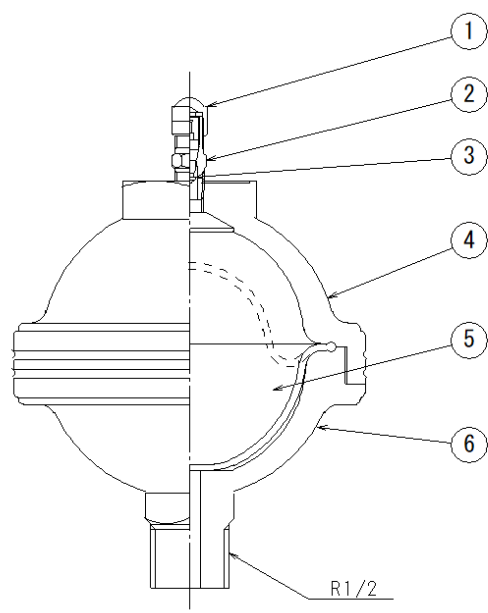
仕様

型 式	EA-2	設定圧力	0.1MPa (標準)	耐圧	0.7MPa
吸収容量	50cc	使用温度	80℃以下		

概要

EA-2型エキスパンションアブソーバー（膨張吸収器）は、炉からの輻射熱によって起こる油の膨張による配管内の圧力上昇により、破損するダイヤフラム弁（オイルレシオレギュレーター・減圧弁）を保護するために利用されます。最大容量を吸収しても変形を起こさない特殊ダイヤフラムにより、完全な復元性があります。

構造



No.	部品名称
1.	キャップ
2.	ソケット
3.	バルブコア
4.	アブソーバーキャップ
5.	特殊ダイヤフラム
6.	アブソーバーボディ

取付上の注意

- 保護する機器と同じ高さに取り付けてください。
- ①キャップ部分を上にした正立状態で取り付けてください。
- 取り外し・点検のため、バルブを設けてください。

管 径	長 さ (m)
10A	39.5
15A	24.5
20A	13.8
25A	8.3

油は配管中に閉じ込められた後で加熱されると、その膨張を吸収する装置がなければ、オイルレシオレギュレーターや減圧弁のダイヤフラムを破損するに十分な圧力を作り出すことができます。左表に温度上昇10℃におけるエキスパンションアブソーバーの対応できる管の長さを示します。

分解・組立方法

※作業はダイヤフラム内の空気を抜いてから行ってください。

1. ④アブソーバーキャップと⑥アブソーバーボディにモンキーレンチ等をかけて緩めます。
2. ④アブソーバーキャップをあけて、⑤特殊ダイヤフラムを取り出します。
3. 清掃を行います。
4. ダイヤフラムのシール面及びボディとキャップのシール面にたっぷりグリスを塗布してください。このとき塗布が不足していると空気が漏れてしまいます。
5. ⑤特殊ダイヤフラムをセットし、④アブソーバーキャップを閉めます。
6. ①キャップを外し、バルブコアにエアージャックを接続して空気を入れます。設定圧力は0.1MPaです。必要に応じて圧力計等で確認してください。空気の漏れがなければ完了です。

日常点検について

1. ①キャップを外し、⑤ダイヤフラム内の封入エア圧力を圧力計等で確認します。



2. 圧力が下がっている場合、コンプレッサーエア等から空気の補充を行い、0.1MPaになるよう調整します。



注意事項

- 封入エア－圧力の確認は定期的に行ってください。
長期間確認されていない場合、封入エア－が抜けている場合があります。
- 空気を封入してもすぐに圧力が下がるような場合、特殊ダイヤフラムの破損などが考えられます。そのような場合は、プラント業者様、または弊社までご相談ください。
- 標準品のエア－封入圧力は 0.1MPa になっており、FD-3(0～0.1MPa)、RD-7(0.05MPa)のような仕様には問題ありませんが、常用 0.2～0.5MPa の圧力ラインでは作動しません。必要に応じて、0.2～0.5MPa に封入エア－圧力を調整してご使用ください。